

学校保健委員会だより

令和4年12月20日
城ノ内中等教育学校・高等学校

12月8日（木）本校図書室にて、学校保健委員会を開催しました。中等教育学校・高等学校の学校医・学校歯科医・学校薬剤師、PTA代表、生徒代表、教職員の計28名が参加し、学校保健・教育相談に関する報告、及び生徒の健康課題について協議を行いました。



学校保健に関する報告

○定期健康診断結果

- ・身体計測…体重に関して前期は2年生男子、後期・高校は6年生女子が平均を上回っている。前期では肥満傾向生徒や保護者を対象に個別指導を、後期・高校ではICTを活用し肥満指導を行っている。栄養教諭とも連携し、個々にあった指導を実施している。
- ・視力…前期、後期・高校ともに矯正率が高く、半数以上となっている。
- ・歯科…むし歯の保有者は前期、後期・高校ともに全国平均より低いが、歯垢・歯肉の要観察・要治療者の割合が高い。前期では減少傾向にあり、後期・高校では増加傾向にある。今後も、歯磨き指導や定期的な受診の啓発を行っていく。



○保健室利用状況

利用者数は昨年より、前期、後期・高校とも減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症への適応が背景にあると考えられるが、その一方で心理面への影響は大きく、心因的理由での来室や相談件数は増加している。不安や悩みなど心理面で配慮が必要な生徒が多くみられる。

○教育相談の状況

前期では全学年を対象にスクールカウンセラーによる心の授業を実施。後期・高校では4年生を対象に外部講師による心の健康講演会を実施している。昨年に引き継ぎ1～5年生を対象に心理検査を実施し、個人面談等教育相談活動に活用し、結果をもとに不登校やいじめへの早期発見と対応に役立てている。保護者に向けても、家庭での子どもへの関わり方についての動画配信を行ったり、スクールカウンセラーとの座談会を開催したりした。

○今年度の主な保健行事

全教職員を対象とした緊急時対応研修（アレルギー、熱中症、心肺蘇生法・AED講習）1～5年生を対象にした生活習慣改善チャレンジ、担任と栄養教諭による食育授業や栄養教諭作成の食育動画視聴。学校歯科医による歯科保健指導、献血セミナー、普通救命講習会、性教育講演会等、その他様々な保健行事を計画的に実施した。また、生徒保健委員会では文化祭で中高合同の保健展を実施し、生活習慣改善チャレンジ週間での気付きをヒントに川柳を詠み、募集した。



協議

○教職員より

- ・起立性調節障害等の疾患により朝起きられない生徒や朝の不調から不登校傾向になる生徒もいる。その他、友人関係や成績に関して悩み不登校となる生徒もいる。スクールカウンセラーや医療機関等へ繋げることや、担任と保護者がしっかり連携することで対応している。また、学年によってはコロナの影響を大きく受けたと考えられる学年もある。
- ・友人関係・成績・進路等で悩む生徒が多い。心理面でのケアやサポートが重要であり、力をいれていきたい。特に6年生では受験に向けて、心身ともに健康を維持・管理することが重要となる。
- ・食物アレルギーや心疾患に関して配慮が必要な生徒に関しては十分注意し活動している。
- ・新型コロナウイルス感染症への適応に伴い、修学旅行や遠足等の学校行事も制限がある中ではあるが、実施することができた。今後も、教室の換気や手指消毒、黙食等の感染症対策を継続して行っていく。
- ・体育の授業では、怪我をする生徒が減少している傾向が見られる。座学に比べ、人との関係性や距離感が顕著に表れる教科であるが、全体的に元気で意欲的に活動している。



○生徒代表（保健委員長）より

前期保健委員会では、消毒液の補充や換気の呼びかけ、保健だよりの啓発などの活動をしている。今後も自分たち



にできることをしていきたい。

後期・高校では、スマホの使用制限と肥満改善について取り組んだ。生活習慣改善チャレンジでは、取り組みを通して1週間だけでは生活習慣の定着は難しいと感じたので、これからも意識し続けることが大切だと感じた。

○保護者（PTA役員）より

- ・緊急時の生徒の動きについての指導はあるか。
- 【回答】→AEDの場所の確認や教職員をすぐに呼ぶよう指導を行っているが、生徒自身が行える応急処置についても指導をしていきたい。
- ・スマホの使用に関しては子どもに示しがつくよう親自身も気をつけたい。カウンセリングに関しては、子どもたちが気軽に利用できるよう啓発して欲しい。
- 【回答】→気軽にカウンセリングが受けられるよう、カウンセラーの先生による授業を行い、カウンセリングについて理解したり、カウンセラーの先生について知ってもらったりする機会を設けている。



学校医による指導・助言

- ・子宮頸がんワクチンが4月から積極的接種になったが、接種希望者は少ない現状である。副反応は、コロナのワクチンよりも少ないと感じているため積極的な接種を。
- ・生活習慣の乱れが口の中へ影響しやすい。体質もあるが、基本的な生活習慣を整えることが大切である。口腔内の状態を良くするために、歯磨きを5分程度行ってほしい。個人でするのではなく、家族みんなで揃って歯磨きをすると継続性も高まるため実践してほしい。
- ・内装の工事を行っているので、掃除をしっかり行ききれいに維持してほしい。怪我を防ぐためにも、階段やゴミ捨て場など破損しやすいところは気を付けてほしい。
- ・教室の換気は空気の流れを考えて窓を対角線に空ける等、工夫して実施を。

